

設定した言語活動を通して育てたい力

○「本当の友だち」についての考えを深めるために、自分とのかかわりでねらいの根底にある道徳的価値をとらえることができる。

思考力、表現力の育成

- ◇ 学年 第4学年
- ◇ 主題名 本当の友だち (内容項目 2-(3))
- ◇ 本時のねらい 料金不足のことを知らせるかどうか迷いながら知らせることにした広子の心情を考えることを通して、相手の立場を理解し、互いに信頼し友情を深めていこうとする心情を養う。
- ◇ 資料名 「絵はがきと切手」(出典：道徳の指導資料とその利用3 文部省)
- ◇ 学習の流れ

学習活動	指導上の留意事項 (◇)	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 「友だちとは？」のアンケート結果を知る。	◇事前アンケートの結果を紹介し、ねらいとする道徳的価値への方向付けとする。 ◇定形外はがきについて確認をする。	<p>話し合いの目的(まとめる、比較する等)を明確に指示しましょう。</p> <p>★話し合いの目的を明確にもつことにより、説明するだけ又は聞くだけにならない点や考えを補い合いながら話し合うことができ、自分の考えを確立することができます。</p>
2 「絵はがきと切手」を読んで話し合う。 〔発問〕		
○ 正子からの絵はがきを読んで、広子はどんな気持ちになったでしょう。	◇正子から届いた美しい景色の絵はがきを読んで、素直に喜ぶひろ子の心情に共感させる。	
○ 母と兄の考えを聞いた広子は、部屋にもどってどんなことを考えたでしょう。	◇正子に知らせるか知らせないかで迷っている広子の心の揺れについて考えさせる。 ◇心の揺れが視覚的にとらえられるような構造的な板書となるようにする。	
◎ 本当のことを伝えようと決めたとき、広子はどんな気持ちだったでしょう。	◇料金不足のことを知らせることに決めた広子の心情について考え、ワークシートに書かせることで、広子の決心の基になった本時の主題へせまれるようにする。 ◇グループで考えを交流させたあと全体交流を行う。	
3 広子へ手紙を書く。		<p>第三者的な手紙にならないよう、登場人物の心情を自分に引きつけながらじっくり考えさせましょう。</p> <p>★自分の体験等を登場人物に伝える手紙の形式をとることにより、道徳的価値を、より自分とのかかわりでとらえることができるようになります。</p>
○ 正子に知らせることに決めた広子に手紙を書きましょう。日ごろは忘れていた体験や自分自身のことを思い出しながら書きましょう。	◇正子を信じて料金不足のことを伝えようとしている広子に、自分の体験等(友だち関係に関するもの)を思い出しながら手紙を書かせることで、ねらいの根底にある道徳的価値について自分とのかかわりで考えさせる。 ◇何人かの児童の書いた手紙を紹介する。	
4 友だちについて考える。	◇学習を振り返りながら、改めて「友だちとは？」について考えさせる。	<p>・友だちを理解し、信頼し合うことについての考えを自分とのかかわりでとらえることができたか。</p> <p>〔自己や他者との対話による思考・判断・表現〕(ワークシート、発言)</p>
5 教師の説話を聞く。	◇友だちを信じて、友情を深めるということについて、話をする。	

設定した言語活動を通して育てたい力

○ 資料中の登場人物の生き方や他の生徒の意見を手掛かりに自分自身の考えを練り上げ、人間としての生き方にかかわって深く感じたり考えたりすることができる。

思考力、表現力の育成

- ◇ 学年 第3学年
- ◇ 主題名 誇りある生き方 (内容項目 3- (3))
- ◇ 本時のねらい 採点ミスに気づきながらも言い出せない主人公の心の葛藤について考えることを通して、弱さを克服し、人間として誇りある生き方をめざそうとする態度を養う。
- ◇ 資料名 「ふさわしきライバル」(出典：広島県教育委員会「中学校 心の元気Ⅱ」)
- ◇ 学習の流れ

学習活動	指導上の留意事項 (◇)	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 今回の定期試験を振り返る。 2 資料「ふさわしきライバル」を読んで話し合う。 〔発問〕 ○数学のテストを受け取ってから一郎は何に悩んでいたのでしょうか。	◇試験期間中の様子も聞いてみる。 ◇意見を出しやすい雰囲気をつくる。  ◇入試にかかわる大切な試験で、採点ミスを言わなくてはならないと分かっているが言えずに悩んでいる、一郎の気持ちにしっかり共感させる。	<p>「職員室に向かったのは、なぜでしょう」と結果としての行動を問うだけでなく、その行動を支える心情について考える視点(部活動の終了を待たずに、『10分休憩』に『全速力』で)を明確に示しましょう。</p> <p>★行動を支える心情について考える視点を明確にすることにより、道徳価値への深い迫り方が可能となり、「3の学習活動」が深まります。</p>
○部活動の10分休憩になり、全速力で一郎が職員室に向かったのは、なぜでしょう。	◇親友、秀喜とのグラウンドでのやりとりや、秀喜の一郎に対する思いを重ねて、一郎の気持ちの変化をつかませる。 (補)「部活動が終わってから」「明日でも」いいのではないだろうか。 ◇一郎の気持ちの変化が秀喜の一郎に対する思い(「本気になる」「ライバル」)に後押しされていることに気付けるように板書を工夫する。	
○長嶋先生が言った「下がった点以上に上がったもの」とは何でしょうか。	◇数字には表れない「上がったもの」を考えさせることで、ねらいとする道徳的価値に近づける。	
3 人間として誇りある生き方について考える。  ○忘れてはならない本当の自分を捕まえることができたとは、どういうことでしょうか。	◇自分の言葉で考えた「忘れてはならない本当の自分」について、深く対話させることで、人間の生き方についての考えを深めさせる。〔ペアでの話し合い、全体交流へ〕	<p>「なぜ」「どうして」と深く自己や他者と対話することで、自分自身を振り返り、自らの価値観を見つめさせましょう。</p> <p>★自分自身の感じ方や考え方を言語化することにより、自分の考えを練り上げ、つきつめていくことができます。</p>
4 心のノート(p.83)に記入し、自分の生活を振り返り、自分がめざす生き方について考える。  5 心のノート(p.80)の詩を聞く。	◇学校の活動や毎日の生活の中で、感じたこと、考えたことをもとに、記入させた後、全体で話し合わせる。	<p>・登場人物の生き方や他の生徒の意見を手掛かりに、人間としての生き方についての考えを自分なりにとらえることができたか。〔自己や他者との対話による思考・表現〕 (ワークシート・行動観察・発言)</p>

